

☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!
スイトビー 画・加納忠



大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 金谷 邦夫
年間購読料一部2,000円(送料共)

堺泉北石油コンビナートの大爆発で 放射熱(やけど)と爆風圧(ガラス破損)の恐れ

大阪府発表の地震・津波被害想定等検討部会報告(第二次)

2月19日、大阪府より地震・津波被害想定等検討部会報告(第二次)があった。これについて少し述べたい。

第一次報告:

水島事故の倍ほどの原油が漏れ、着火
2014年の第一次報告は「堺泉北で油類は最大1.7万kl流出するおそれがある」とし「陸上・海上火災等の災害の可能性がある」とした。また、「爆発等の影響が一般地域に及ぶ可能性がある」とした。この1.7万kl流出の大半は極めて燃えやすい原油であることは要注意である。40年前、水島・三菱石油のタンク破損による流出量が0.8万kl程度であり瀬戸内海中を重油で油まみれにしたが、堺泉北では水島の倍ほどの量であり、極めて燃えやすい原油であるため着火する恐れが非常に高いのである。故に、以前より浜寺、高石地域の住民の間では「これほどコンビナートに近い」ことを不安視する人は多かった上でのこの報告は衝撃であったはず。そして、今回の報告は、東日本大震災で起きた「液化化および高圧ガスタンク爆発などの災害で得られた教訓を生かすため」として発表さ
堺北のガスタンク群



れたが、地域住民にとっては、さらに衝撃を受けられると思われる。

第二次報告:

タンク爆発とファイヤーボールの被害が、住民を襲う
特に千葉県コスモ石油で起きた高圧タンク爆発を参考に推定すると、可能性は低いとするが「ファイヤーボールによる放射熱で浜寺水路付近の海岸線から3kmのところまで火傷する可能性がある」とする。海岸線から3kmと言えば南海本線はおろかJR線までの住民、約5万人にやけど被害がおよぶことになる。また「同爆発の爆風圧により同海岸線から1.5kmの地点で窓ガラスの10%が破壊される」と推定している。しかし、1.5km以内の範囲に最近高層マンションが乱立気味である。今も建設用のクレーンが数本見える。これらマンションの臨海に面する窓ガラスは4階以上であればほぼ全壊では?と思う。

巨大なLNGタンク事故が欠落

なお、今回の報告でもLNGタンク事故については全く触れられていない。おそらく、東日本大震災では、同タンク事故は皆無であった故と思う。しかし、大阪ガスのLNGタンクを始

大阪ガス泉北第2、第1工場



海岸線より1.5km 海岸線より3km
(Googleマップを基に作成)

め、堺泉北にある23基のタンクの内、爆風圧などによる被害に対して比較的強いと思われる地下タンクは1基だけ、残り22基は全て地上タンクである。一方の関東では、74基の内、実に78%の58基が比較的安全な地下タンクであったため、事故は起きなかったかも知れない。故に、堺泉北ではLNGタンク事故の想定を重視する必要がある。たとえば、あるLPG球型タンクより僅か500mほどしか離れていないところに世界一巨大な地上型LNGタンクがある。外形91m、高さ60mで大阪城の天守閣が土台ごと2個分スッポリ入る大きさである。近くの球形タンク群が爆発などすればこの巨大LNGタンクはどうなるのか? 早急な検討を求める。

(沢村 秋則)